

2015年9月10日発生「関東・東北豪雨」
水海道教会被災支援募金のお願い

一つの部分が苦しめば、
すべての部分が苦しみ、
一つの部分が尊ばれれば、
すべての部分が共に喜ぶのです。
＜コリントの信徒への手紙一 12章 26節＞

日本基督教団関東教区
〒330-0844 さいたま市大宮区下町 3-39
TEL 048-647-0862

水海道教会被災報告と支援のお願い

日本基督教団関東教区
総会議長 秋山 徹

9月10日(木)に茨城県常総市を中心に襲った大雨は、鬼怒川の堤防の決壊とそれにつながる河川の氾濫をもたらしました。また、市内の低地域に水が集まったことによって、多いところでは2mを超え、1階の天井に水が達した家屋も多数ありました。流出家屋や床上浸水家屋などの多くの被害があります。この大水害によって、家族を亡くされた方や家を失った方々に、神さまの慰めのあることを祈ります。

そのような中で、私たちの大切な水海道教会と関連施設の二葉こども園も、大きな被害を受けることとなりました。10日(木)に降った大雨が、11日(金)の未明より敷地内に流れ込み、冠水し、水の高さが約120cmにまで達したことによる被害です。また、教会員宅や教会関係者宅、こども園スタッフ宅、園児宅にも床上浸水・床下浸水の被害が多数あり、お住いの地域によっては深刻な被害もでています。

これらの被災に対して、関東教区茨城地区の牧師有志によって、水海道教会をお借りして「水海道教会ボランティアセンター」が設置され、ボランティアの皆さまのご協力によって、水海道教会と二葉こども園の清掃と片付け、教会員や関係者宅の清掃と片付け、廃棄物の運搬等が行われています。

この「水海道教会ボランティアセンター」の働きを、関東教区としても全面的に支援し、水海道教会と二葉こども園、信徒の方々をはじめ関係者の皆さまの復興の推進を祈っています。



(被災状況と現状)

水海道教会は、会堂と牧師館が床上浸水の被害を受けました。会堂は床上30~40cmまで、牧師館は床上50cmまで水が達しました。これによって、泥水が室内に入り込み、床や壁を汚し、備品が泥水に浸かりました。牧師館は、主な生活用品が使用不能となりました。

床や壁を洗浄し、ふき取って、泥や汚れを清掃しましたが、礼拝堂内部に敷かれていたカーペットは全面撤去となりました。業者が消毒し、新たにカーペットを敷いて使用できるようしました。水に浸かった物は洗浄し、できる限り再利用を願っていますが、泥に交じって様々な物が入り込んでいますから、廃棄したものも相当にのぼりました。

加藤久幸牧師・加藤輝勢子牧師ご夫妻は、10日(木)の避難指示以降、近くの避難所である水海道小学校で泊まっておられましたが、14日(日)の夜より牧師館に戻られました。お二人の、お疲れと健康が案じられます。

関連施設の、認定こども園二葉こども園は、育ちサポートセンターを数年前に建築し、0～2才児のための保育室として使用してきました。また、3～5才児のための保育室の建築に入ったところで、仮園舎で保育をしていました。給食室も、仮給食室でした。その建物すべてに渡って冠水の被害にあい、現在休園中です。園バス3台と乗用車2台が浸水の被害によって、使用不能となりました。乗用車に関しては、レンタカーを1台借りて、加藤牧師に使用していただいています。

園のスタッフによる懸命の作業が続く中で、保護者の皆様のボランティアもあって、作業は進んでいますが、何より保育の再開が課題となっています。

まず、整えられた礼拝堂を使用して、28日(月)から「預かり保育(延長保育)」を行うこととなりました。ご両親が就労していて、仕事上の保育を必要とする方に、被災を受けられた方に、保育の責任を果たそうと準備が進められました。

また、園舎全体が冠水の被害にあった中で、子どもたちが安心して園生活を送るために、園全体が一時避難することを含めて、園長である加藤牧師は最も良き道を祈り求めておられます。10月1日より、園全体の保育の再開の実現に向けて取り組んでいます。このことは、様々な検討事項を含んだ本当に大きな課題です。

教会員のお宅や教会関係者のお宅、こども園スタッフのお宅と園関係者のお宅にも、相当の被災があります。床上浸水と床下浸水によって、清掃、洗浄、片づけ、廃棄処理の必要があります。14日(月)から始まったボランティアの働きによって、1軒ずつ作業の完了の報告が寄せられています。しかし、完了にはもうしばらくかかる場所もありますし、新たなニーズも生まれつつあります。今回の水害は広範囲に及び、水位も高いことから、復旧には相当の時間がかかると思われます。

(ボランティアについて)

9月14日(月)から活動を開始した「水海道教会ボランティアセンター」は、遠くから近くから駆けつけてくださったボランティアの皆さまによって、支援活動に取り組むことができます。

具体的には、14日(月)から23日(水)間に、延べ300名を超える方々をお迎えすることができました。一日に平均すると約35名のボランティアとなります。

また、こども園の保護者の方々もボランティアセンターに来てくださり、園スタッフと一緒に掃除や片づけをしてくださっています。





ボランティアセンターは、毎朝 8 時 30 分までに担当スタッフが来て、その日の打ち合わせをします。当日参加予定のボランティアの確認と、その日のボランティアの要請を確認します。

朝 9 時までにはボランティアが到着します。到着後、派遣先への振分けが行われ、祈ったあとボランティアに出かけます。お昼には一旦センターに帰っていただいて、昼食・休憩を取り、1 時から再び派遣先を振りわけ、出かけます。

午後 4 時にはその日のボランティアを終了し、センターに戻り、皆でミーティングをします。一日の活動状況の報告、気がついた点などを共有し、祈りをもって終了します。その後、スタッフでミーティングをします。

なお、「水海道教会ボランティアセンター」は、9 月 30 日(水)を区切りとしています。

*ボランティアセンターの情報は、関東教区のホームページ中「災害対応掲示板」に随時アップしています。ぜひ掲示板をご活用ください。

<水海道教会被災支援募金のお願い>

この度の「関東・東北豪雨」によって被災し、大きな被害を受けられた、日本基督教団水海道教会と関連施設認定こども園二葉こども園への支援募金を関東教区として呼びかけさせていただくこととなりました。二葉こども園は水海道教会にとって大切な宣教の柱であり、教会とこども園は一体の関係です。

【募金の使途は】

- ①水海道教会と二葉こども園の被災支援のため
- ②教会員と園スタッフ、教会関係者等で被害に遭われた方へのお見舞のため
- ③水海道教会ボランティアセンターの働きのため

【募金目標額・募金期間】

目標額・期間ともに、特に定めはありません。
皆さまの祈りにあわせて、お献げいただきたいと願っています。

【募金先口座】…同封の振替用紙をご利用ください

郵便振替・00140-3-67727「日本基督教団関東教区」
*摘要欄に「水海道教会被災支援金」とご記入ください。

2015 年 9 月 25 日

日本基督教団関東教区総会議長 秋山 徹